

5

視認性のある開放的で 安心できる学習・生活空間

自然が感じられる空間のしつらえと
主体性を育む空間構成

下北沢成徳高等学校

学科等/普通科・女子校 クラス数・生徒数/16クラス・385人 建築主/学校法人成徳学園

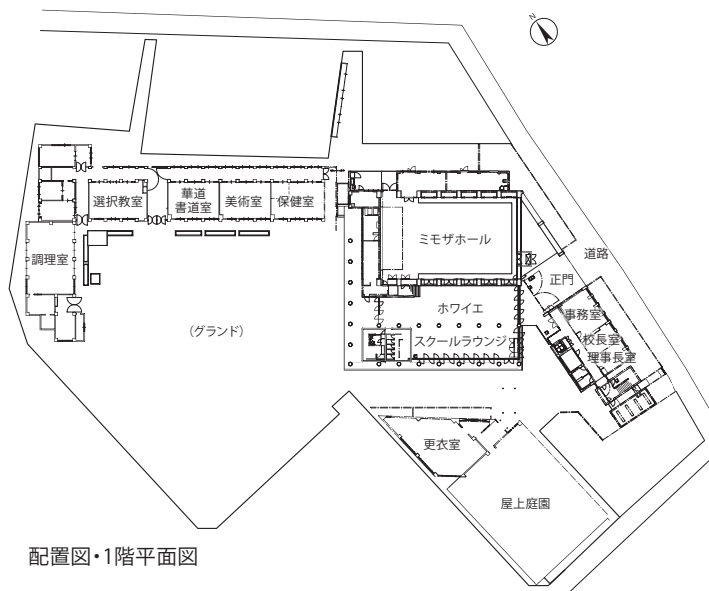
所在地/東京都世田谷区代田6-12-39 工事種別/改築 敷地面積/7,241㎡ 延床面積/8,353㎡ 竣工/2005年2月

■計画・整備のねらい

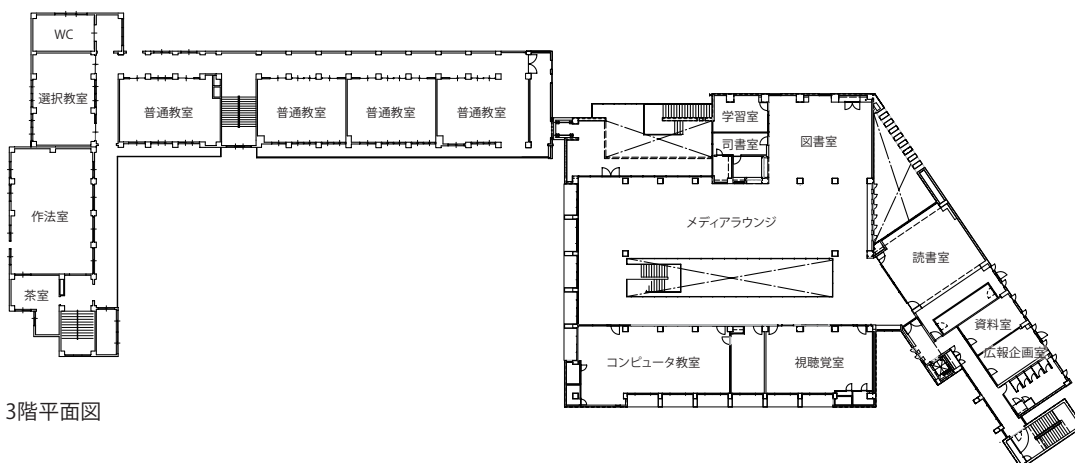
- 先生と生徒、生徒同士のコミュニケーションを誘発する空間構成
- 緑・光など自然の恵みが感じられる人に優しくゆとりある空間



改築後俯瞰写真



配置図・1階平面図



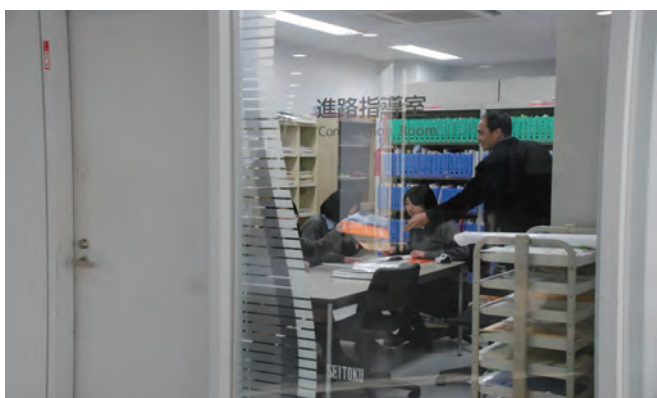
3階平面図

■施設整備の工夫点

○透明感のある安心できる空間



職員室は、教員と生徒の距離感を縮めるために、全面ガラス張りとし、生徒から教員に相談しやすい環境としている。また、生徒と教員のコミュニケーションを誘発するために、日常的に人目に付きやすい職員室前にコミュニケーションラウンジを配置した。



進路指導室も一部ガラス張りとしている。進学や進路に関する情報を保管するための収納棚が整備されている。室内にはパソコンも設置しており、大学等の検索が可能となっている。



1階にあるスクールラウンジ。ガラス張りで開放感があり、また、緑を感じることができる空間としたことで、生徒の交流が行われる憩いの空間となっている。



ガラス張りの職員室としたため、教員が休憩するためのスペースを教員室奥に整備している。

■教育効果のポイント

○日常的に人目に付きやすい場所にあるコミュニケーションラウンジでの生徒と教員の相談風景が、他の生徒の目にもふれ、教員への相談が多くなった。